

「3 キャリアユーザーに聞く、新型 iPhone 購入意向調査」

新型 iPhone 購入意向は 46.0%

ドコモ iPhone への意向が高くも、購入不安も大きく

MNP は au が唯一のプラス、ドコモ・ソフトバンクはマイナスに

マーケティングリサーチを行う株式会社ネオマーケティング(所在地:東京都渋谷区)では、世の中の動向をいち早く把握するために、独自で調査を行っております。新型 iPhone の予約が開始された 9 月 13 日に、各社からキャンペーン施策が発表されました。それを受け、2013 年 9 月 13 日~9 月 17 日の 5 日間で本年 9 月 11 日に発表された新型 iPhone「iPhone 5s/iPhone 5c」について、全国の 15 歳以上の男女 4500 名(ドコモ・au・ソフトバンク:各 1500 名)を対象にインターネットリサーチを実施いたしました。

◆「3 キャリアユーザーに聞く、新型 iPhone 購入意向調査」調査結果

■46.0%が新型 iPhone の購入意向あり！ iPhone 5s の人気、iPhone 5c を大きく上回る。

新型 iPhone の購入意向は「購入したい」13.4%、「やや購入したい」32.6%合わせて 46.0%が購入したいと思っていることがわかりました。今回発表された iPhone 5s と iPhone 5c の端末の購入意向は、高性能な iPhone 5s の方が人気が高い結果となりました。端末別では、iPhone 5s、iPhone 5c とともにドコモの購入意向が最も高く、次いで、au という結果になっています。

■新型 iPhone 購入方法は機種変更が最も多い結果に。

一方、MNP 流出入では、au が、ドコモ、ソフトバンクに大きく差をつけ、唯一のプラスに。各キャリアのユーザーに新型 iPhone はどのように購入するかお聞きしたところ、機種変更が 65.8%で最も多い結果となりました。各キャリアの契約形態別の内訳をみると、ドコモは機種変更での選択が多い結果となっています。また MNP 流出入では、ドコモ、ソフトバンクに対して、au は、唯一流出入意向の結果がプラスとなり MNP による流入意向が多い結果となっています。

■「実質 0 円」「800MHz 帯対応」などドコモ、au の報道発表へ関心が集まる。

ドコモの「今ドコモを利用中の方が、iPhone 5s(16GB) または iPhone 5c(32GB) へ機種変更・契約変更すると、端末費用が実質 0 円となること」44.3%、au の「新型 iPhone がプラチナバンド帯(800MHz 帯)の LTE サービスに対応していること」34.0%が 2 トップという結果になっています。ドコモ、au の報道発表への印象が高かったことがわかりました。

■購入の決め手は、料金とエリア。「月々の利用料金」「端末の購入価格」が上位に。

「月々の利用料金・料金プランが魅力的かどうか」77.7%、「端末の購入価格が安いかどうか」61.5%が検討する項目として高いことがわかりました。

■新型 iPhone への不安は、「アフターサービス」。ドコモ購入者予定者の不安項目が最も多い結果に。

購入時の不安について、「アフターサービス」が 27.4%で最も多い結果となりました。特にドコモ購入予定者は、「メールなどの機能面の遅さ」や「予約がとりづらい」など各項目で回答数が最も多く、不安を感じているようです。

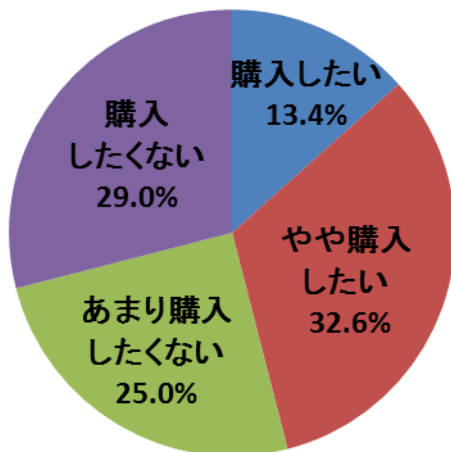
【調査概要】

1. 調査の方法:株式会社ネオマーケティングが運営するアンケートサイト「アイリサーチ」のシステムを利用した WEB アンケート方式で実施
2. 調査の対象:アイリサーチ登録モニターのうち、全国の 15 歳以上の男女を対象に実施
3. 有効回答数: 4500 人
4. 調査実施日:2013 年 9 月 13 日(金)~2013 年 9 月 17 日(火)

※本調査は、2013 年 9 月 13 日(金) 20 時現在の情報をもとに実査を行いました。

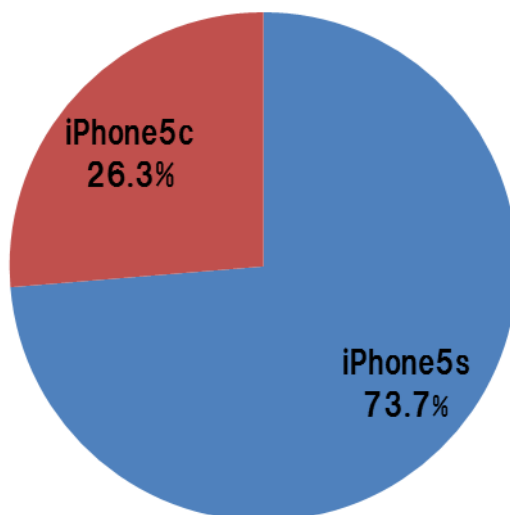
■46.0%が新型 iPhone の購入意向あり！ iPhone 5s の人気は、iPhone 5c を大きく上回る。

Q1.新型 iPhone の購入意向をお答えください。(単数回答)【N=4500】



新型 iPhone の購入意向を聞いたところ、「購入したい」と答えた人は、13.4%、「やや購入したい」と答えた人は 32.6%となりました。合わせて 46.0%の方が新型 iPhone を購入したいとされているようです。また、「購入したくない」と答えた人は、わずか 29.0%で新型 iPhone への購入意向が高いことがわかりました。

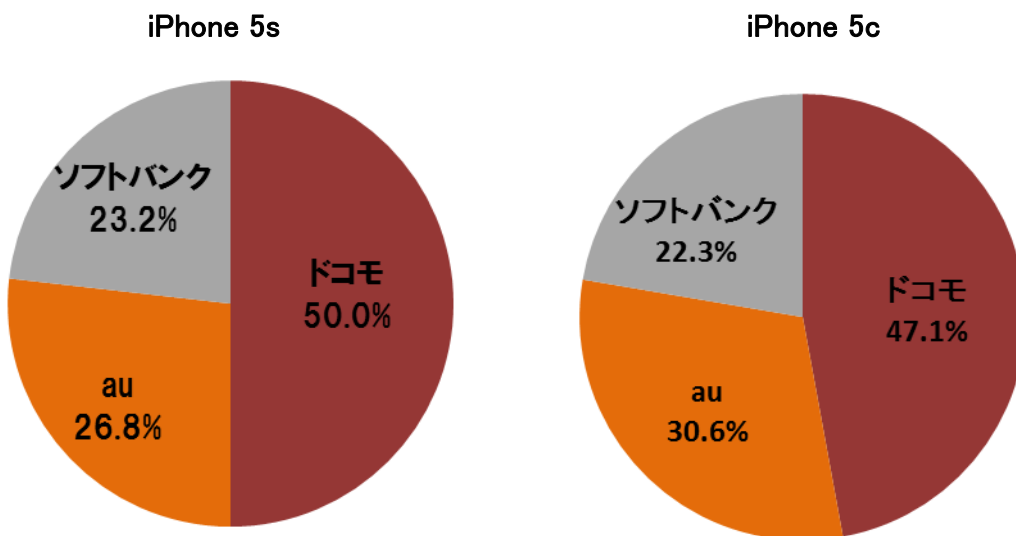
Q2.新型 iPhone を購入する際に、iPhone 5s と iPhone 5c のどちらの端末にしますか、ひとつお選びください。(単数回答)【N=1979】



今回発表された iPhone 5s と iPhone 5c の端末の購入意向を聞いたところ、高性能な iPhone 5s の方の人気が高い結果となりました。

2013. 9. 18

Q3. 新型 iPhone を購入する際に、意向端末はどの携帯電話の通信会社（キャリア）にしますか、ひとつお選びください。（単数回答）【N=1979】

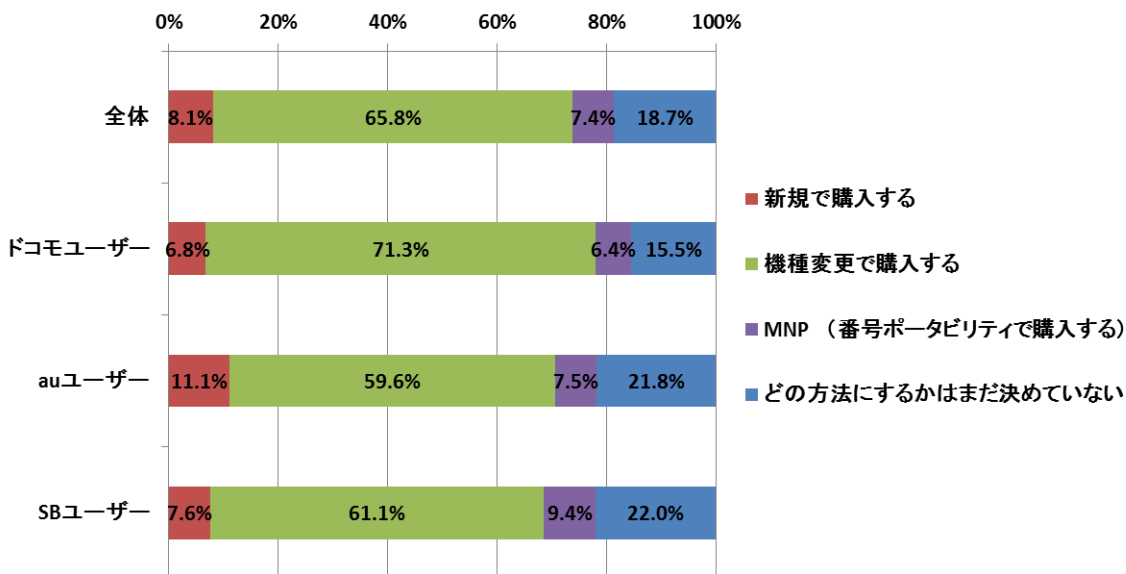


端末別では、iPhone 5s、iPhone 5c ともにドコモの購入意向が最も高く、次いで、au という結果になっています。

■ 新型 iPhone 購入方法は機種変更が最も多い結果に。

一方、MNP 流出入では、au が、ドコモ、ソフトバンクに大きく差をつけ、唯一のプラスに。

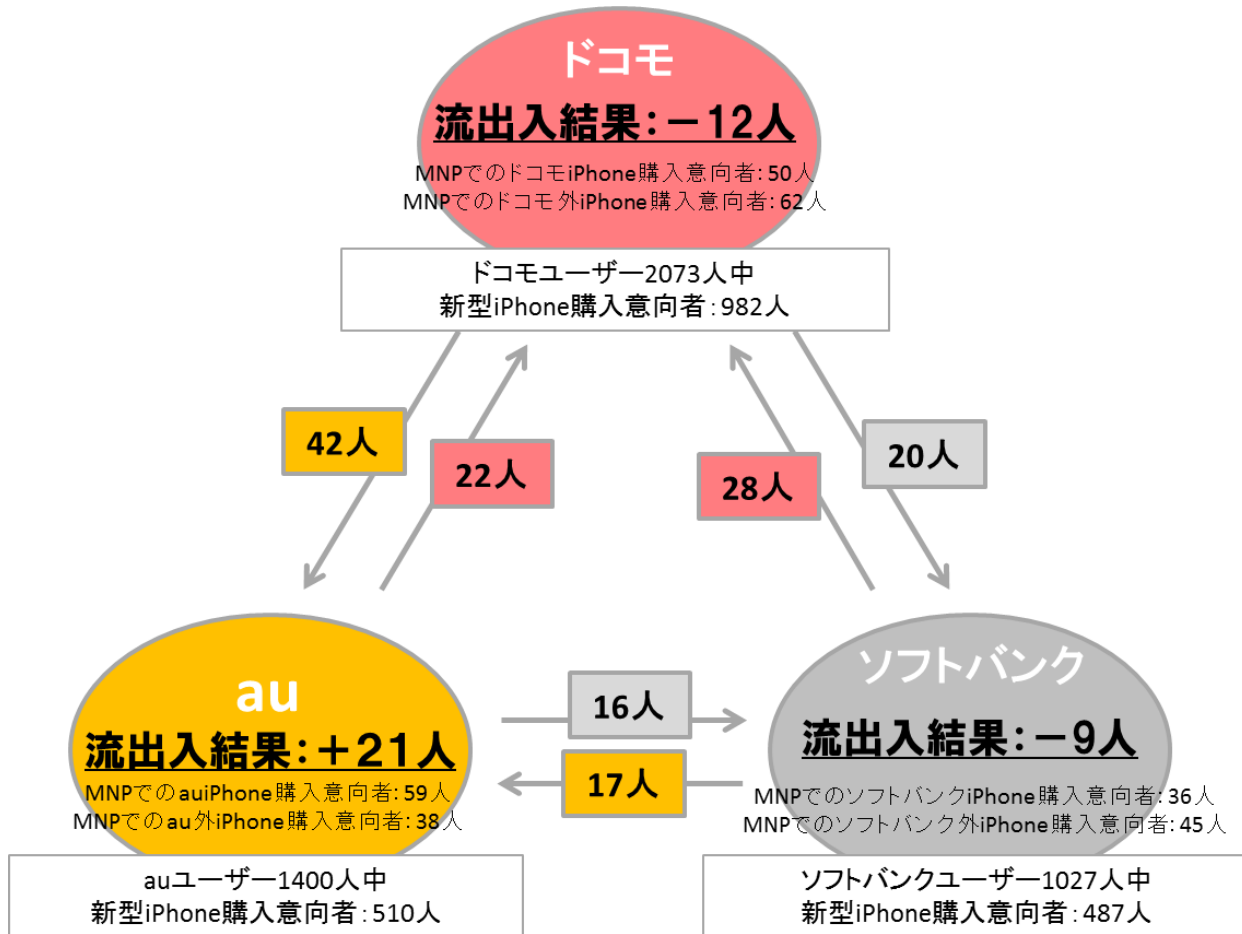
Q4. 新型 iPhone を購入する際に、どのような方法で購入したいですか。ひとつお選びください。（単数回答）【N=1979】



各キャリアのユーザーに新型 iPhone をどのように購入するかお聞きしたところ、機種変更が 65.8% で最も多い結果となりました。特にドコモユーザーでは、7 割以上が機種変更で購入すると答えています。

各キャリアの新型 iPhone のナンバーポータビリティ(MNP)購入意向者による流出入マップ

MNP で新型 iPhone 購入意向ユーザー=147 人



※今回は、ウェイトバック集計を行って数値を算出している為、全体値と個別数字の合計が一致しない場合があります。

※Q1にて購入したい、やや購入したいを選んだ 2072 人の内、MNP で購入意向があるが使用中キャリアと同キャリアを選択した矛盾回答を除外した母数です。

また、各キャリアユーザーの中でナンバーポータビリティ(MNP)での購入意向者による流出入を見てみると、ドコモ・ソフトバンクは、流出入意向の結果がマイナスとなり MNP による流出が多い結果となりました。対して au は、流出入意向の結果がプラスとなり MNP による流入意向が多い結果となっています。au、ソフトバンク共に、ドコモへの流出が多いのですが、ドコモユーザーから au への転出意向が他と比べて倍近く多かったことが要因ではないでしょうか。

2013. 9. 18

■「実質 0 円」「800MHz 帯対応」などドコモ、au の報道発表へ関心が集まる。

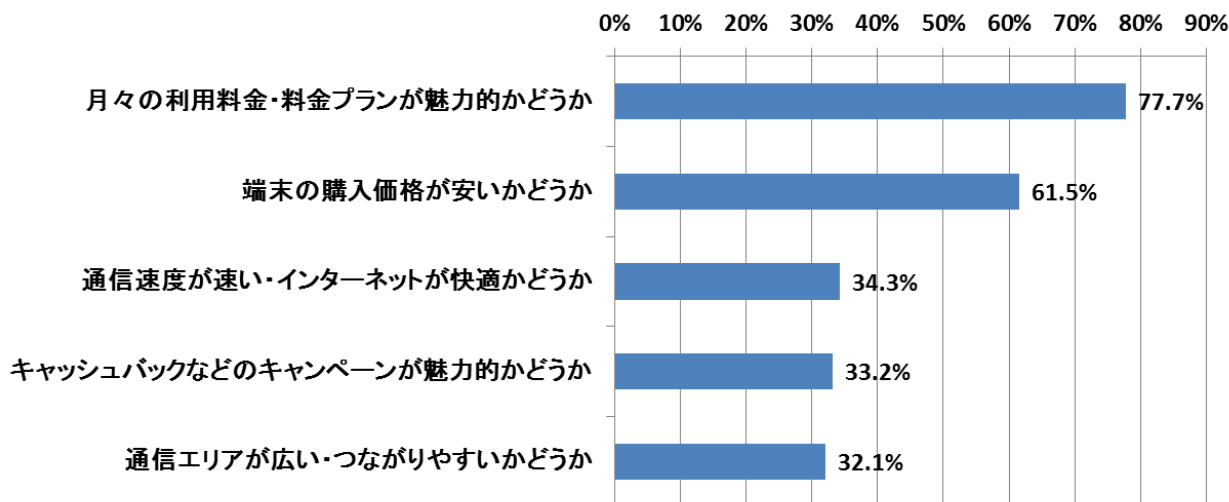
Q5.9 月 13 日に行った各携帯電話の通信会社の報道発表について、印象に残った内容をすべてお選びください。(複数回答)【N=3166】

キャリア	順位	項目	ポイント
ドコモ	第1位	今ドコモを利用中の方が、iPhone 5s(16GB)またはiPhone 5c(32GB)へ機種変更・契約変更すると、端末費用が実質0円となること	44.3%
	第2位	今秋にiPadの取り扱いを開始する予定があること	30.1%
au	第1位	新型iPhoneがプラチナバンド帯(800MHz帯)のLTEサービスに対応していること	34.0%
	第2位	利用中のiPhone 5、iPhone 4Sを最大28,000円相当のポイントで買い取る下取りサービスがあること	25.2%
ソフトバンク	第1位	MNPで他社から乗換えの場合、2年間月額基本使用料980円分が割引になること	29.1%
	第2位	新型iPhoneのLTEサービスの実人口カバー率が91%であること	23.2%

9 月 13 日に各社の報道発表を知っていると回答した 3166 人に印象に残った内容をすべてお聞きしたところ、1位はドコモの「今ドコモを利用中の方が、iPhone 5s(16GB) または iPhone 5c(32GB) へ機種変更・契約変更すると、端末費用が実質 0 円となること」44.3%となりました。次いで au の「新型 iPhone がプラチナバンド帯(800MHz 帯)の LTE サービスに対応していること」34.0%という結果になっています。ドコモ、au の報道発表への印象が高かったことがわかりました。

■購入の決め手は、料金とエリア。「月々の利用料金」「端末の購入価格」が上位に。

Q6.新型 iPhone を購入する際に、検討する項目であてはまるものをすべてお選びください。(複数回答)【N=2072】

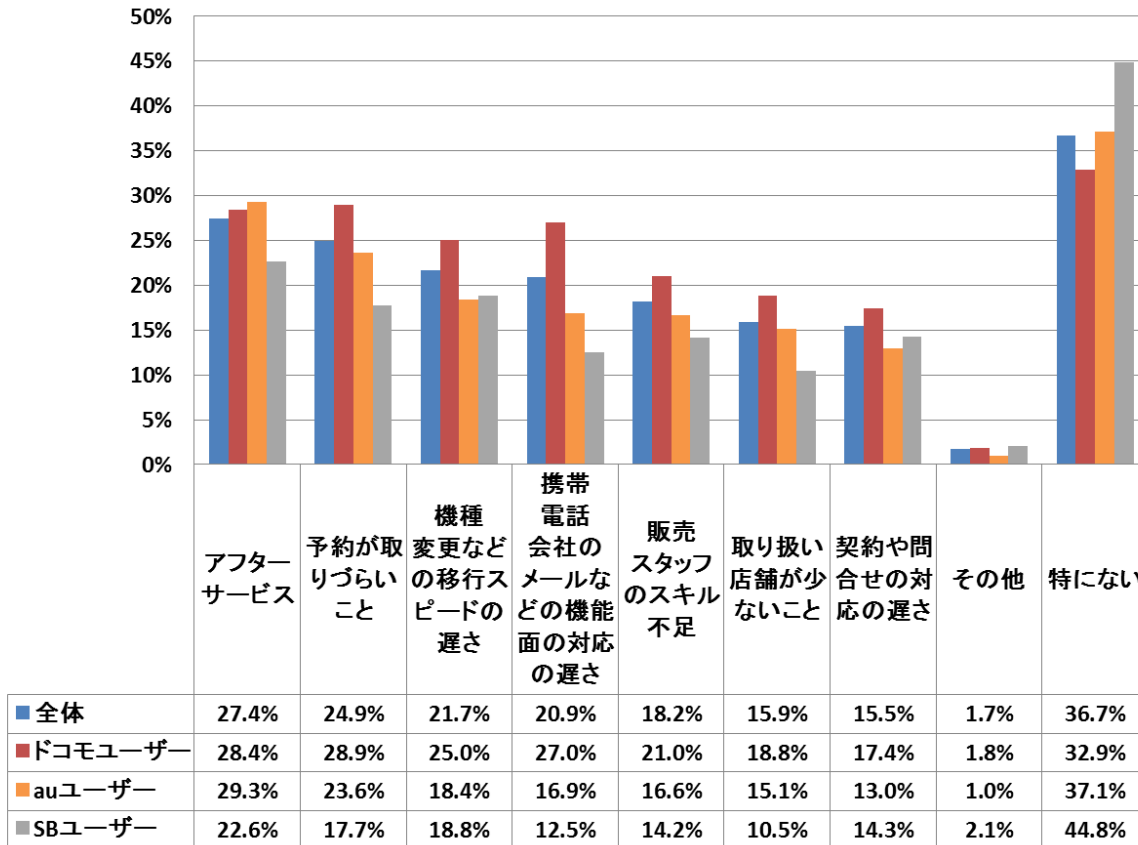


購入する際の検討項目について聞いたところ、「月々の利用料金・料金プランが魅力的かどうか」77.7%、「端末の購入価格が安いかどうか」61.5%が検討する項目として高いことが分かった。また、「通信速度が速い・インターネットが快適かどうか」や「キャッシュバックなどのキャンペーンが魅力的かどうか」という項目が後を追う形となっています。

2013. 9. 18

■新型 iPhone への不安は、「アフターサービス」。ドコモ購入者予定者の不安項目が最も多い結果に。

Q7.最も購入候補となるキャリアの新型 iPhone を購入する時に、不安を感じるものをすべてお選びください。(複数回答)【N=2072】



新型 iPhone の購入時の不安について、「アフターサービス」が 27.4%で最も多い結果となりました。キャリア別に見ると、ドコモ購入予定者は「予約が取りづらいこと」28.9%、au 購入予定者は「アフターサービス」29.3%、ソフトバンク購入予定者は「アフターサービス」22.6%が最も多い結果になりました。特にドコモは、「予約が取りづらい」や「メールなどの機能面の遅さ」などでもポイントが高く、目立っています。

■詳細データに関しては、本件の問い合わせ先までご連絡ください。

■引用・転載時のクレジット表記のお願い

※本リリースの引用・転載は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。
 <例> 「インターネット調査のネオマーケティングが実施した調査結果によると……」

■「アイリサーチ」

URL : <http://www.i-research.jp/>

※今回の集計方法※

性年齢階層別主に利用している携帯電話・スマートフォンの通信会社（キャリア）別構成比（スクリーニング調査出現率から推計）に整合するように比重調整（ウェイトバック集計）を実施